

自律神経評価システム

スコープオン スリーエス 3s SCOPEON

SSS1000

10分でできるBRS・心拍変動解析



取得した心電図・血圧波形と画面上で登録したイベントから自律神経の活動を解析・評価し、自律神経レポートを作成します。

■測定～レポート出力までが簡単にできる

測定中、座位・仰臥位・立位イベントボタンをクリックするだけで、自律神経レポート(※)が作成できます。シンプルでわかりやすいレポートで簡単に被検者の自律神経機能を評価できます。
※自律神経の総合評価、自律神経バランスのレーダーチャート

■周波数解析結果を確認しながら、測定

取得した心電図より算出した RRI を周波数解析することで、自律神経の指標となる LF・HF を算出し、その推移をリアルタイムに表示します。

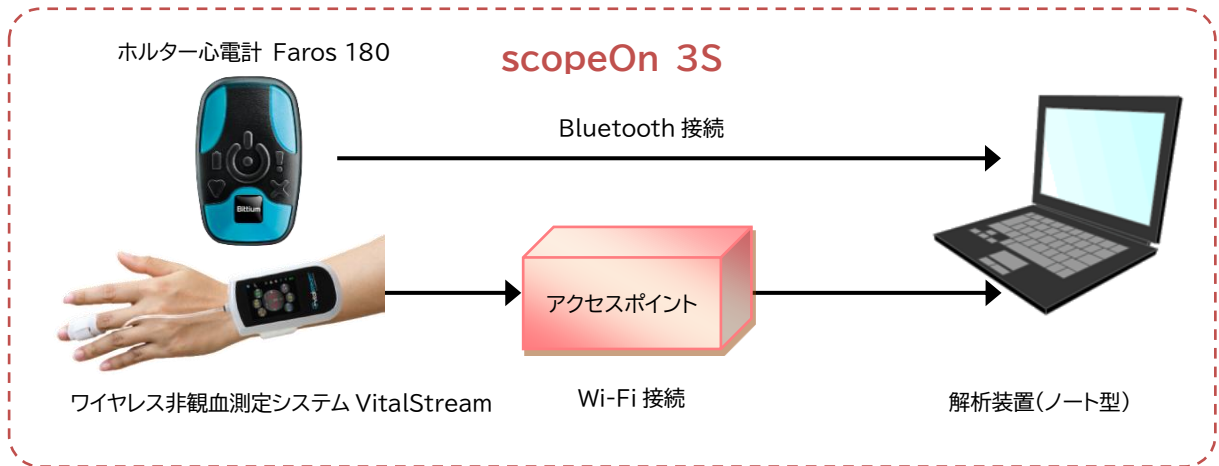
■テキスト保存によるデータ活用

心電図・血圧の測定データやトレンドデータ、解析結果をそれぞれ時系列順にテキストデータ(CSV形式)で出力することで、他の表計算ソフトで読み出してご利用頂けます。

■圧受容器反射感受性(BRS)解析

取得した安静座位時の心電図と血圧波形から、シーケンス法を用いて圧受容器反射感受性(BRS)の解析を行います。

システム構成例



※ BRS 解析を行う場合は血圧データの入力が必要です。

販売名 ホルター心電計 Faros
 医療機器認証番号 307AGBZX00038000
 製造販売業者 株式会社グッドケア

画面表示例

レポート作成画面



BRS 解析画面



パッケージ構成例

■ scopeOn 3S [SSS1000]

- scopeOn 3S ソフトウェア [SSS1001]
- 解析装置(ノート型) [HRV1011]
- ホルター心電計 Faros 180 [9404302]
- ワイヤレス非観血測定システム VitalStream 基本セット [VSM1001]
- アクセスポイント [HRV1043]

☆アナログ出力機能付きの心電計・連続血圧計との組み合わせも可能です。お問い合わせください。

主な仕様

- 対応 OS Windows 11
- 入力信号 心電図(必須)
血圧波形(任意)
- Trend 6 種類
(RRI・BP・HF・LF・LF/HF・nu)
- 接続機器 ウェアラブル心電計・連続血圧計
- 検査時間 約 10 分
- 検査項目 起立試験(安静座位・臥位・立位)
BRS 検査(心電図・血圧を利用)
- レポート項目 RRI・BP・自律神経評価・BRS
自律神経バランスレーダーチャート
- 出力形式 テキストデータ(CSV 形式)
- サンプリング周波数 最大 1000Hz
※装置のサンプリング周波数に制限されます

※ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 ※ その他、本リーフレットに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

20251120